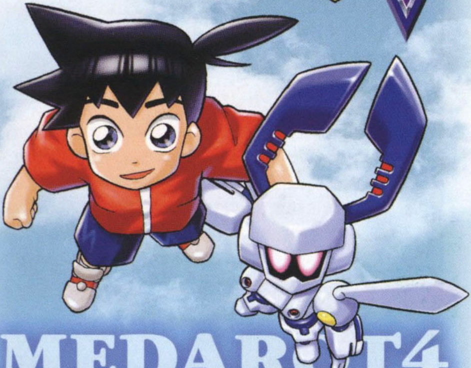
ゲームボーイカラー専用

CGB-B4NJ-JPN

1/24 MEDAROT SERIES
MEDAROT4 KUWAGATA VERSION
メダロット4（クワガタバージョン）

メダロット4



MEDAROT4
KUWAGATA VERSION

GAME BOY COLOR

COLOR 専用

取扱説明書

imagineer

このたびはイマジニア株式会社のゲームボーイカラー専用カートリッジ「メダロット4」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に取り扱い方、使用上の注意など、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

安全に使用していただくために…

⚠ 警告

- 疲れた状態での使用、連続して長時間にわたる使用は、健康上好ましくありませんので避けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激や、点滅を受けたり、テレビの画面などを見たりしているときに、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などを経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、ゲームをする前に必ず医師と相談してください。また、ゲーム中にこのような症状が起きた場合には、直ちにゲームを中止し、医師の診察を受けてください。
- ゲーム中にめまい・吐き気・疲労感・乗り物酔いに似た症状などを感じたときは、直ちにゲームを中止してください。その後も不快感が続いている場合は医師の診察を受けてください。それを怠った場合、長期にわたる障害を引き起こす可能性があります。
- ゲーム中に手や腕に疲労、不快や痛みを感じたときは、直ちにゲームを中止してください。その後も不快感が続いている場合は、医師の診察を受けてください。それを怠った場合、長期にわたる障害を引き起こす可能性があります。
- 他の要因により、手や腕の一部に障害が認められたり、疲れている場合は、ゲームをすることによって、症状が悪化する可能性があります。そのような場合は、ゲームをする前に医師に相談してください。

● 目の疲労や乾燥、異常に気が付いた場合、一旦ゲームを中止し、5～10分の休憩をとってください。

⚠ 注意

● 長時間ゲームをするときは、適度に休憩をとってください。めやすとして1時間ごとに10～15分の小休止をおすすめします。

機器の取り扱いについて…

⚠ 警告

● 運転中や歩行中の使用、航空機内や病院など使用が制限または禁止されている場所での使用は絶対にしないでください。事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

● カートリッジはプラスチック、金属部品、リチウム電池が含まれています。燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。

使用上のおねがい

● 極端な温度条件下での使用や保管、および強いショックを避けてください。また、分解や改造をしないでください。
● 端子部に触れたり、水に濡らすなど、汚さないでください。

本品は、○印のついている機器に使用できます。

ゲームボーイアドバンス	ゲームボーイカラー	ゲームボーイ (ゲームボーイポケット／ライト)	スーパーゲームボーイ (スーパーゲームボーイ2)
○	○	×	×

通信ケーブル対応

もくじ
CONTENTS

プロローグ





舞台は近未来。ちまたではお友達ロボットの「メダロット」同士を戦わせる遊び、「ロボトル」が流行しており、その腕前を競い合っていました。ロボトルに勝つと相手からロボットのパーツをもらえる、それがこの遊びのルールなのです。

今から8年前。このメダロットを悪用して世界征服をたくらむ、「ロボロボ団」という悪の集団が現れ、いたるところで悪事を働きはじめたのです。町には「セレクト隊」と呼ばれる防衛団も結成されますが、いまいち頼りになりません・・・。ロボロボ団に立ち向かい、見事その陰謀を阻止したのは、“アガタヒカル”という少年でした（～「メダロット」～より）。









その7年後、復活したロボロボ団が新たな事件を起こしますが、またもや一人の少年によって解決されます。彼の名は、“テンリョウ イッキ”といいます（～「メダロット2」より～）。

その後、ロボトルの全国大会「メダリンピック」での優勝を勝ち取ったイッキは、宇宙から来た悪のマザーメダロット、「ブラックデビル」との戦いでも、激闘の末に見事勝利をおさめるのでした（～「メダロット3」より～）。

そして、現在。数々の活躍をしてきたイッキですが、彼はこのところずっと悩んでいるようでした。「僕は、本当にメダロットのことを理解しているのかな?」

そんな時、イッキは「メダマスター」と呼ばれる、真のメダロッターにのみ与えられる称号を知りました。イッキが「メダマスター」に興味をもった頃、イッキの通うギンジョウ小学校に、新たな女教師が転任してきました。

これが、新たなる戦いへの幕開けだったのです・・・。

登場人物紹介



テンリョウ イッキ

「メダロット2」、「メダロット3」に引き続き、今回も主人公として活躍する。一見頼りないが、ロボトルへの情熱は誰にも負けない。



アマザケ アリカ

イッキのクラスメートで幼なじみ。将来の夢はジャーナリスト。気が強く、いつもイッキ達を引っ張りまわしているが、たまには優しい面も見せる?



カラクチ コウジ

花園学園に通う、イッキのライバル。とにかく正義感が強い熱血漢。思い込んだが最後、どこまでも突っ走っていくのがたまにキズ。



ジュンマイ カリン

花園学園に通う女の子で、みんなのアイドル的な存在。お嬢様育ちで、ちょっと変わったところもあるが、とても優しい性格の持ち主。でも怒るとこわい･･･。



スクリューズ

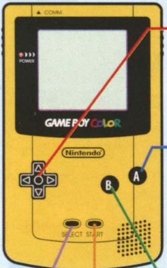
あねご肌のキクヒメがリーダーの、悪ガキ3人組。イワノイは機械マニアで、カガミヤマはきれい好きらしい･･･。



なみしま りんたろう

何よりメダロットが大好きな、一直線な性格の少年で、“だぜ”口調は今回も健在。現在、カメヤマ小学校男子メダロット部部長。

操作方法



十字ボタン

プレイヤーキャラの移動、各種コマンド選択時のカーソル移動に使用します。

Aボタン

選んでいる項目の決定。移動画面では人物との会話や、目の前のものを調べる時に使用します。またメッセージ表示中、画面右下に送りマーク「■」が出た時、次のページを表示させます。

スタートボタン

戦闘中では、ロボトルメニューを開きます。また、メダロッチの「メダロット」画面では、《メダロット選択》・《会話》・《パートナー選択》の切り替えに使用します（「メダロット」⇒8ページ）。

Bボタン

各コマンドのキャンセル。移動画面ではメインメニューを開きます。

セレクトボタン

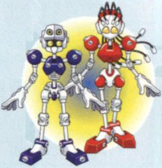
戦闘中では、パーツ選択コマンドとメダフォース選択コマンドの切り替えを行います。また、パーツ画面のページ切り替え、メダロット、メダル、アイテムの並べかえに使用します。

メダロットの仕組み

メダロットの構造

メダロットは「ティンペット」という骨組みに「パーツ」をつけ、「メダル」をはめ込んで完成します。

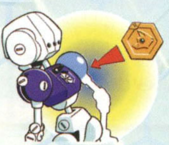
ティンペット + パーツ + メダル = メダロット



ティンペット ティンペットとはメダロットの基本フレームの呼び名で、人間でいうと骨格にあたります。ティンペットにパーツを装着し、メダルをはめ込めば、メダロットのできあがりです。ティンペットには男型と女型の2種類があり、男型には男型用パーツ、女型には女型用パーツしかつけることができません。ティンペットは、最大9体まで持つことができます。

パーツ メダロットは、頭・右腕・左腕・脚部の4つのパーツに分かれています。メダロットの選べる行動は、このパーツによって決まります。パーツは大きく分けると男型用パーツと女型用パーツの2種類がありますが、それぞれが多彩な能力に分かれ、非常に多くの種類が揃っています。

メダル メダルは人間でいうと脳にあたり、メダルをはめこまないとメダロットは動くことが出来ません。メダロットの名前、性格などの個性は、全てこのメダルによって決まります。メダルは、戦闘を積んでいくと「レベル」が、また、戦闘で行動をとるたびに「熟練度」がそれぞれ上がっていきます。(熟練度⇒11ページ)メダルには、それぞれ得意な行動が決まっています。熟練度は、パーツの行動に対応したものが上昇しますが、基本的にはメダルごとに決まっている、特定の行動の熟練度しか上げることはできません。ただし、『メダリア』と呼ばれる宝玉をつければ、足りない熟練度をおぎなうことができます。(メダリア⇒12ページ)メダルはレベルが上がっていくと、『メダフォース』という特殊な力を身につけていきます。(メダフォース⇒11ページ)

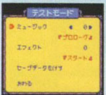


ゲームの開始





ゲームボーイカラー本体に「メダロット4」のカートリッジを正しくセットし、電源スイッチを入れてください。オープニングデモの後に、タイトル画面が表示されます。タイトル画面でスタートボタンを押すと、タイトルメニュー画面に移り、「つづきから」「はじめから」「せってい」の項目が表示されます。また、タイトル画面で、セレクトボタンを押しながらスタートボタンを押すと、テストモードに入り、ゲーム中に使われているBGMと効果音を聞くことができます。十字ボタン左右で選択、Aボタンで聞きます。Bボタンでタイトル画面に戻ります。



■つづきから（セーブデータがある場合しか選択できません）

セーブしてあるゲームの続きから遊ぶことができます。

■はじめから ゲームをはじめから遊ぶ時に選びます。チュートリアルデモの後に、ゲームが始まります。

■せってい ゲーム中の3種類の設定を変更することができます。

せんとう時間:戦闘の判定（⇒14ページ）までの制限時間を3段階で変更できます。

せんとうBGM:戦闘中に流れるBGMを3種類の中から選択できます。

せんとうメッセージ:戦闘中のメッセージ送りの動きの早さを3段階で変更できます。

メインメニュー



ゲーム中、移動画面でBボタンを押すとメインメニューが開きます。メインメニューでは、「メダロッチ」・「アイテム」・「のりもの」・「セーブ」の4つのコマンドを選ぶことができます。コマンドの下には現在所持しているお金が表示されます。

◆メダロッチ:現在持っているメダロットのパーツ・メダルの組み替え、ライブラリーの表示等、メダロットに関するほとんどのことはこのコマンドから実行できます。（ライブラリー⇒14ページ）

◆アイテム:主人公の持っているアイテムを表示、使用します。セレクトボタンでアイテムの並べかえができます。

◆のりもの:ゲームを進めていると、特殊なメダロットと、それを乗り物として使うために必要なアイテムを入手することがあります。そのアイテムを入手するとここに表示され、それを選択することでメダロットに乗ることができます。

◆セーブ:プレイデータのセーブを行います。基本的に、セーブはメインメニューが開く場所であれば、どこでも行うことが可能です。



■「メダロッチ」でメダロットを転送　メダロッチを選択するとさらに「メダロット」、「メダル」、「パーツ」、「ライブラリー」の4つのコマンドが表示されます。

メダロット

メダロットにメダルやパーツを装着することができます。また、メダロットとの会話、パートナーの変更(⇒9ページ)を行います。

◆メダロットのつくりかた

1)「メダロット選択」画面でメダル・パーツを装着したいティンペットを選択します。
2) 次のメダロット詳細画面で装着したいメダル・パーツの部分にカーソルを合わせ、十字ボタンの左右でメダル・パーツを選びます。
3) 選択中にAボタンを押すと、メダルやパーツの詳しい情報を見ることができます。

◆パーツ各部の役割

あたま) 特殊能力:回数に制限があるが、能力が高い。

みぎうで) 軽装備:基本的に、命中率は高いが、隙が少なく威力の低い攻撃が多い。

ひだりうで) 重装備:基本的に、充填時間が長く、隙が大きいが威力の高い攻撃が多い。

きゃくぶ) 移動+基本能力:全ての能力の基本能力に影響。また移動タイプを決定する。

ポイント① メダルとパーツの相性がよければ、パーツの右側に◎が表示され、さらに右に表示される数値の合計がボーナスとしてパラメータに加わり、行動の成功率や回避率などがアップします。

ポイント② メダロット詳細画面でスタートボタンを押していくと、型式番号が並びになっている4パーツ（"純正パーツ"と呼びます。）で構成されたメダロットを順番に表示します。純正パーツによるメダロット（純正メダロット）がメダチェンジ可能な場合、セレクトボタンを押すことで変形中の状態を確認できます。（メダチェンジ⇒18ページ）

ポイント③ 脚部パーツをつけかえることによって、メダロットの移動タイプが変化します。メダロットの移動タイプは「飛行型」「浮遊型」「多脚型」「二脚型」「車両型」「戦車型」「潜水型」の7種類で、それぞれ特性が違います。また、得意な戦闘フィールドも異なりますので、場面に応じて使い分けていきましょう。



飛行型　浮遊型　多脚型　二脚型　車両型　戦車型　潜水型

会話 組んでいるメダロットと会話をすることができます。「メダロット」コマンドを選び、スタートボタンを1回押すと「会話」画面になりますので、メダロットを選んでAボタンで話し掛けてください。メダロットのつけているメダルに応じて、答える時の性格が異なります。また、同じ質問に対しても、プレイスタイルや、今つけているパーツなどに応じて、反応が変わります。その内容によって、親密度（⇒10ページ）が上下します。親密度が上がると、さらに会話内容が変わることがあります。

パートナー 持っているメダロットの中から、メインとして使うメダロットを自由に選ぶことができます。このメダロットのことを『パートナー』と呼んでいます。パートナーは、自由に変更が可能です。「メダロット」コマンドを選んで、スタートボタンを2回押すと「パートナー変更」画面になります。下に青いマークのついているメダロットが、現在のパートナーです。他のメダロットにカーソルを合わせてAボタンを押せば、パートナーがそのメダロットに変わります。全ての戦闘やサブゲーム（⇒19ページ）に参加するメンバーには、必ずこのパートナーを含めなければなりません。また、ストーリーの中で主人公とメダロットとの対話などがある場面には、ここでパートナーにしたメダロットが登場します。

メダル



持っているメダルの詳しい情報や現在のパラメータを見ることができます。また、メダリアのつけ替えなどを行うことができます。（メダリア⇒11ページ）



持っているメダルの一覧と絵柄が表示されます。セレクトボタンで位置の入れ替えが可能です。Aボタンを押すとサブメニューが表示され、「のうりょく」・「メダフォース」・「ローテ」・「じゅくれんど」・「メダリア」のいずれかを選択することができます。各項目に移った後も、十字ボタンの左右でメダルを変えられます。

◆のうりょく

♥5 主人公と、このメダルをつけたメダロットとの親密度です。行動の成功値に影響します。

メダルの性格を表します。性格には7種類あり、行動するときに、相手のどのメダロット・どのパーツを狙うかはこの性格によって決まります。画面下には、性格の説明が表示されています。

友好値を表しています。戦闘中、味方のメダロットが2体同時に行動ポイント（フィールドの中心）にたどり着くと、行動の成功値がこの値によってアップします。右に表示されているメダロットと同時に行動すれば、この数値は上がっていきますが、違うメダロットだと数値は下がってしまいます。

メダルの性質を表します。属性に合わせてパーツを選ぶと戦闘を有利に展開可能です。

相性値を表します。メダルとパーツの属性がひとつ合うごとに、この値の分、攻撃が成功しやすくなります。

レベル 現在のメダルのレベルです。レベルが上がると、主に回避・防御能力が上がります。

次のレベルまで 次のレベルに上がるために必要な経験値です。

メダロット そのメダルを装着しているメダロットがいる場合、ここにその移動タイプを表示します。メダルがどのメダロットにも装着されていない場合、ここには何も表示されません。

◆メダフォース



「メダフォース」とはメダルから発動される強力な技です。最初は使用できないのですが、戦闘を重ねてメダルの経験値を積み、メダルが一定のレベルに達すると覚えることができます。1つのメダルにつき最大3種類のメダフォースがあります。メダフォースを使用するには戦闘中にメダフォースゲージを高める必要があります。

【画面表示の説明】

しょうひMF:使用するために必要なメダフォース量

じゅくれんど/せいこうち:メダフォース発動を成功させるために必要な熟練度の種類とポイント

いりょく:メダフォースの威力の目安となる数値

◆ローテ



戦闘を自動で行う際、メダロットのとる行動をあらかじめ指定することができます。「オート」モード(⇒17ページ)では、ここで表示されている行動を左端から順番に行っていきます。十字ボタンの左右で行動順を選び、上下で行動内容を変更します。さらにAボタンを押すと、ローテーションポイントを変更できます。メダロットは、8回分の行動が終わった後は、この画面でオレンジ色になっている部分を繰り返して行動します。

◆じゅくれんど



メダルの持っている熟練度の種類と、現在のポイントを表示します。行動パーツには、それぞれ必要な熟練度が設定されており、全部で10種類あります。熟練度が高いほど、ロボトル中に対応したパーツを使用した時にその行動が成功する確率や、効果がアップします。対応パーツを使う事で熟練度は上がってゆきますが、「メダリア」がないと、持っていない熟練度は上げることができません。

◆メダリア



スタートボタンでメダリアのつけ替えができます。十字ボタン左右とAボタンでメダリアを装着する位置を選び、右のリストからつけたいメダリアを選んでください。

【メダリアとは】 メダリアは熟練度ごとに存在し、成長してゆく宝玉です。このメダリアはどのメダルとでもつけ外しができます。おもに、各メダルの足りない熟練度をサポートするために使用します。メダリアは、メダルが持っていない、もしくは足りない熟練度を補う役目を果たします。

例）「うつ」の熟練度がないメダルに「うつ／10」のメダリアをつける
⇒メダルに「うつ／10」の熟練度が備わる。

メダルの持っている熟練度のメダリアをつけた場合は、ポイントの大きい方が有効になります。

例）「うつ／10」の熟練度を持つメダルに「うつ／20」のメダリアをつける
⇒「うつ／20」の熟練度を持っているのと同じになる。

メダリアの熟練度も、その熟練度に対応する行動を行うたびに、メダルが元々持っている熟練度に関係なく、成長していきます。ただし、メダリアの成長はメダルの熟練度の成長よりも遅く、またポイントの上限も低くなっています（最大60まで）。メダルが持っていない熟練度のパーツを使いたい時、またはあっても熟練度が低い場合に、メダリアは大変有効な手段となるでしょう。メダリアの熟練度が低い時は、高い熟練度を持っているメダルにつけて成長させてから他のメダルにつけかえるのがポイントです。

パーツ



持っているパーツの詳しい情報や、そのパーツの持つ能力をパラメータで見ることができます。持っているパーツの一覧が表示され、パーツ名と型式番号、持っている数を確認できます。なお、右端に♥マークが表示されているパーツは女型ティンペット用パーツで、ほかは全て男型ティンペット用パーツです。

はじめは頭パーツが表示されていますが、セレクトボタンを押して他の部位のパーツ一覧に切り替えることができます。パーツにカーソルを合わせてAボタンを押すと、そのパーツの詳しい情報が表示されます。ここでスタートボタンを押すと、パーツの並んでいる順番を五十音順や行動別に並びかえることができます。



頭パーツ

■そうこう:パーツの装甲(HP)を表します。戦闘中にダメージを受けると減っていき、0になるとパーツが破壊されてしまいます。
■せいこう:行動の成功しやすさや、症状効果を与えたときの持続時間に影響します。
■いりょく:攻撃系パーツで与えられるダメージや、補助系パーツの効果に影響します。数字の前に○がついている攻撃系(回復系)パーツは、対象のパーツを破壊した(全快させた)場合、貫通して他のパーツにも効果が及びます。
■かいすう:(頭パーツのみ)1回の戦闘中にパーツを使える回数を表します。

右腕・左腕パーツ

■じゅうてん:パーツを使うのに必要な準備時間を表します。数字が大きいほど長くなります。
■ほうねつ:パーツを使った後、次の行動を命令するまでに必要な準備時間を表します。
◎この2つはチャージエリア(⇒16ページ)での移動時間として表されます。なお、頭パーツを使った時はこの時間が一定になっています。

脚部パーツ

■すいしん:おもに「地形エリア」における移動スピードに影響します。(地形エリア⇒16ページ)
■きどう:おもに相手の攻撃からの回避能力に影響します。
■ぼうぎょ:相手の攻撃を装甲の高いパーツで防ぐ確率、その時に軽減できるダメージに影響します。
■きんせつ:「なぐる」「がむしゃら」「まもる」「なおす」「おうえん」行動の成功しやすさに影響します。
■えんかく:「うつ」「ねらいうち」「せっち」「とくしゅ」「ぼうがい」行動の成功しやすさに影響します。
◎脚部パーツが破壊されると、これらの基本能力は全て半減してしまいます。

ライブラリー



全てのパーツには、同じ型式のパーツで構成される「純正メダロット」が存在します。パーツを1つ以上入手したメダロットは、ここに陳列され、情報を見ることができます。
なお、まだ入手していないパーツはシルエットで表示されています。

ロボトル（戦闘）

メダロットでは戦闘のことを「ロボトル」と呼びます。以下はそのロボトルのルール5ヶ条です。

ロボトルの基本ルール

1）プレイヤー、敵ともにメダロットを3体までロボトルに参加させることができます。
2）メダロットは頭パーツが壊されてしまうと、右腕・左腕・脚部の各パーツの装甲（HP）が残っていても、機能が停止してしまいます。
3）ロボトルはチーム戦で行われるため、相手のリーダー（戦闘画面の一番上のメダロット）を先に機能停止させたチームが勝利となります。
4）ロボトルには制限時間があり、制限時間になるとレフェリーの公正な判定により勝敗が決定します。制限時間の長さはタイトルメニューの「せってい」で変更することができます。
5）ロボトルに勝利すると相手のパーツを1つもらうことができます。反対に負けてしまうと1つ敵に渡さなければいけません。
【参考】それぞれのパーツの装甲（HP）は1回のロボトルが終了後、自動的に最大まで回復します。

特別ルール

「メダロット4」ではいくつかの特別ルールが用意されており、ロボトルの際にこれらが採用されることがあります。ここでは、その一部を紹介します。



【チームロボトル】 2人もしくは3人でメダロットをそれぞれ出し合って戦闘に出場させます。プレイヤーは、パートナーメダロットを参加させ、その1体のみを操作することになります。仲間のメダロットは、自動的に操作しますが、「ローテ」コマンドであらかじめ指示を出す事もできます（ローテ⇒10ページ）。

【限定ロボトル】 ロボトルに使用可能なメダロットの条件が限定されているロボトルです。例えば、「二脚限定ロボトル」では、移動タイプが「二脚」のメダロットしか出場させることはできません（もちろんパートナーも二脚である必要があります）。他に、「女型限定ロボトル」などがあります。

ロボトルの準備



ゲーム中、ロボトルに突入するとはじめに「敵・フィールド表示」の画面が表示されます。この画面では「フィールド」・「敵のメダロットの数とタイプ」・「敵キャラクターの名前とセリフ」が表示されます。Aボタンを押すと「メダロット選択」画面に移ります。

1）まず、リーダーにするメダロットを選択します。ロボトルはリーダーが破壊されてしまうとその時点で負けになってしまいますので、慎重に選びましょう。

2）チームに参加させる残りの2体を選択しましょう。1体だけでもロボトルをすることはできますが、パートナーは必ず出場させなければなりません。

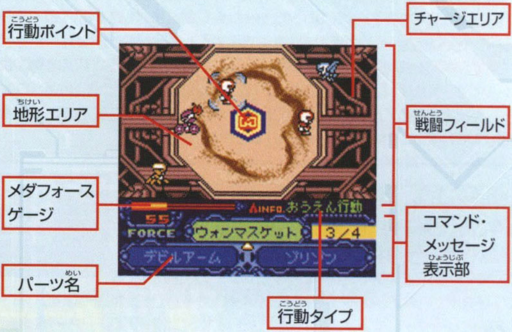
3）3体目を選択するか、スタートボタンを押すとロボトルが始まります。

《ポイント①》 ロボトルに突入したあとではメダロットのメダルやパーツをつけかえたり、パートナーを変更したりすることはできません。いつロボトルに突入してもいいよう、常にメダロットの装備には気を配っておきましょう。



《ポイント②》 マップを歩いていて、突然出会った敵との戦闘では、「ロボロボメダル」を使うことによって戦わずに逃げることができます。

戦闘画面説明



①まずそれぞれのメダロットが、どのパーツで行動するかを選択します。十字ボタンの上、右、左がそれぞれ頭、右腕、左腕のパーツに対応しています。カーソルを合わせたパーツは、メッセージ表示部の右上に行動タイプが表示されます。

②全てのメダロットに対してコマンド入力が終了すると、メダロットはいっせいに画面中央に向かって走り出します。各メダロットはフィールド中央の「行動ポイント」にたどり着いた時点で初めて行動することになります。

③行動した後は、メダロットはまた画面左端まで駆け戻ります。戻ってきたメダロットから順次、次のコマンド入力をすることができます。特定の条件が揃っていれば、セレクトボタンでメダフォース選択コマンドに切り替えてメダフォースを使用することもできます。（メダフォース発動⇒18ページ）

《ポイント①》メダロットは、行動パーツ選択の際、メダルの性格に応じて攻撃や支援効果の対象を自動的に決定します。ただし、格闘攻撃の場合は、基本的には行動実行時に最も近くにいる相手を狙って攻撃します。

《ポイント②》フィールドの八角形の外側を「チャージエリア」、内側を「地形エリア」と呼びます。「チャージエリア」では右腕・左腕のパーツを使用した際、それぞれの「じゅうてん」・「ほうねつ」の値が低いほど、移動スピードが早くなります。また、「地形エリア」では脚部パーツの「すいしん」の値の他、フィールドと脚部タイプとの相性が大きく移動スピードに影響します。



《ポイント③》行動コマンド選択時にスタートボタンを押すとロボトルメニューが開き、「じょうたい」・「みる」・「ローテ」・「オート」の4つのコマンドを選択することができます。

◆じょうたい:敵・味方のメダロットの「設置」・「構え」の状況と、各メダロットおよびフィールド全体にかかっている症状効果を見ることができます。また、左右に移動するアニメーションは、現在の地形と、各メダロットの移動タイプとの相性を示しています(実際の移動速度をあらわしているわけではありません)。

◆みる:敵・味方のメダロットの使っているメダルとパーツを見ることができます。

◆ローテ:味方メダロットのローテーションを変更できます。

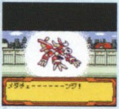
◆オート:コンピュータに自動で戦闘をさせます。あらかじめ「ローテ」コマンドで行動を指示しておけば、コンピュータはその命令通りに動きますが、状況に応じて、セットされている内容が無駄と判断した場合には自分で考えて別の行動をとるようになっています。「オート」状態を解除するには、コマンド画面が開くまでBボタンを押しつづけます。

メダフォース発動！



メダフォースを使用するためには力をためて、「メダフォースゲージ」を上昇させる必要があります。戦闘中、メダフォース選択コマンドを開いた状態で十字ボタン下を押すと「MFため」コマンドを選択できます。また、メダロットがダメージを受けてもゲージは上昇します。使いたいメダフォースに必要なメダフォース量がたまったら、メダフォース選択画面で使用するメダフォースを選びましょう。
【注】メダフォースを覚えていても、熟練度が必要な値に達していないと発動できません。

メダチェンジ！



特定のメダロットは、戦闘中に「メダチェンジ」（変形）をすることができます。メダチェンジには「シフト変形」・「パワー変形」の2種類があり、メダロットによってどちらの変形方法をとるかは決まっています。メダチェンジ中のメダロットは、4つのパーツの装甲が全て一つにまとまり、パーツを破壊されることがなくなります。

◆シフト変形：変形にメダフォースを必要としない。変形前と違った行動をとれるものが多い。
◆パワー変形：変形にメダフォースが必要。機能や効果が大きくパワーアップしているものが多い。

※「パワー変形」中は行動するたびにメダフォースゲージが下がっていき、0になると自動的にメダチェンジ状態が解除されてしまいます。

下記の条件を満たした状態で、パーツ選択コマンドで十字ボタンの下を選択すればメダチェンジできます。他の行動と同じように、メダロットが行動ポイントにたどり着いた時点で変形します。変形中、再度同じコマンドを選択すると、変形を解除できます。

★メダチェンジを行うための条件

① 同じ型式番号のパーツ（純正パーツ）でメダロットを組んでいること
② 変形を行えるメダロットであること（「メダロッチ」の「ライブラリー」で確認することが出来ます）
③ パーツが一つも破壊されていない状態であること
④ （パワー変形の場合）メダフォースゲージが0でないこと

サブゲーム

メダロット同士の決着をつける方法として、ロボトル以外にもいろいろなサブゲームが用意されています。



【メダスピードキング】 とにかくスピード勝負、1対1のスピードレースです。出場するメダロットはパートナー1体です。Aボタンでアクセルのオン・オフ、十字ボタンの下で発進となります（但し、タイミングが早いとフライングで負けになってしまいます）。Aボタンを押しつづけるとスピードがあがりますが、あまり押し過ぎるとオーバーヒートしてスピードが落ちてしまいますので、うまく調節するのがコツです。

◎Aボタンをリズミカルに押すのがポイント。発進前のアクセル調整も重要になります。



【メダロードレース】 多彩な地形で構成された、障害物のあるコースを走り抜けます。
3体のメダロットが出場します。A（B）ボタン連打でメダロットを加速させます。十字ボタンの上下で移動してうまく障害物をかわしましょう。加速させると「MF」ゲージが減っていき、これがなくなるとスピードが出なくなりますが、コースの途中に置いてあるメダロッチを取る事でメダロットを選手交代させることができます。

◎メダロットの移動タイプに合った地形を選んで進みましょう。



【メダバードコンテスト】 メダロットをうまく飛ばして、目標に着地させましょう。目指せ100点満点！
飛ばすメダロットはパートナーになります。Aボタン連打で他の2体のメダロットを助走させ、Bボタンでパートナーをジャンプさせます。パートナーが飛行メダロットの場合、十字ボタンの上下で3回まで軌道修正させることができますが、1回修正するごとに評価点が下がってしまいます。コースごとに異なる飛距離の地点に島が置いてあり、その中央部の近くに着地するほど、高い点数が得られます。ただし、着地に失敗すると点数がもらえません。

◎ミドルコースでは、あまり助走をつけないこと。ショートコースでは、あえてジャンプしないのもいいかも知れません。

通信によるトレーディング・対戦



通信ケーブル（別売）を使用することにより、友達とメダロットのパーツやメダルのやりとりをしたり、対戦したりできます。まず「メダロット4」のセットされた2つのゲームボーイカラーに通信ケーブルを正しく接続して、タイトルメニュー選択画面で「つづきから」を選んでください。そしてそれぞれコンビニに入り、レジの横にある通信端末を調べて、「通信ネット」に接続をしてください。



通信ネットでは4種類のサービスを楽しむことができます。

●あそびでロボトル:育てたメダロット同士の対戦を行うことができます。勝敗によるパーツのやりとりのない、純粋に勝負を楽しむモードです。

1）「地形せんたく」画面が表示されるので、戦闘を行いたいフィールドを選択します（この時、お互いの選択したフィールドが異なった場合、自動的にランダムで地形が選択されます。）。

2）通常のロボトルの操作通り、メダロットを選択して、データの転送を行います。

3）モード選択画面が表示されますので、「マニュアル」（プレイヤーが操作）もしくは「オート」（プレイヤーの操作なしで自動戦闘）を選択して、戦闘開始になります。

4）戦闘終了後、パーツの組替えやパートナーの変更ができます。それぞれがBボタンを押せばモード選択画面に戻ります。



●しんけんロボトル:育てたメダロット同士の対戦を行うことができます。相手に勝つと、相手からパーツを獲得することが出来ます。

※1）〜3）までは「あそびでロボトル」と同じです。

4）ロボトルに勝負がつくと「パネルDEロボトール」の画面に切り替わります。

5）勝ったプレイヤーはタイミングよくAボタンを押してダーツを発射します。ダーツが命中した部位のパーツを相手から獲得できます。

6）戦闘終了後、パーツの組替えやパートナーの変更ができます。それぞれがBボタンを押すとモード選択画面に戻ります。

●パーツのトレード:パーツの交換を行うことができます。



1)「パーツのトレード」にカーソルを合わせ、Aボタンを押します。
2)パーツ選択画面に切り替わるので、交換に出したいパーツを選択し、「トレード」を選びます。「みる」を選ぶとパーツの能力を確認できます。
3)パーツの交換が行われた後、モード選択画面に戻ります。

●メダルあげーる:自分の所持しているメダルを相手に渡すことができます。
1)「メダルのトレード」にカーソルを合わせ、Aボタンを押します。



2)メダル選択画面に切り替わるので、相手にあげたいメダルを選択し、「あげ～る」を選びます。「みる」を選ぶとメダルの能力を確認できます。
3)メダルが相手に渡されたあと、モード選択画面に戻ります。
【注】今、装備中のメダルや、相手がすでに持っているメダル、さらにメダリアの装着されているメダルは渡すことができません。

●つうしんをきる:通信ネットをキャンセルし、タイトル画面に戻ります。
【注】通信を終える時には、必ず「つうしんをきる」を選択してください

◎前作との通信について

「メダロット4」では、前作「メダロット3」(カブト・クワガタバージョン)、及び「メダロット3・パーツコレクション」との通信による、パーツ交換が可能です。ただし、この通信をするためには、エンディングを迎えた後にどこかで手に入る、『メダ3パスポート』というアイテムが必要です。通信のしかたは、基本的に「メダロット4」同士の場合と変わりません(「メダロット3」及び「メダロット3・パーツコレクション」の通信に関しましては、それぞれの取扱説明書をご覧下さい)が、接続に成功しても「通信ネット」には入らずに、自動的に「パーツのトレード」の画面に移ります。
【注】「メダロット4」に新登場したパーツなど、「メダロット3」及び「メダロット3・パーツコレクション」で使用できないものはトレードに出すことができません

バッテリーバックアップ機能に関するご注意

●このカートリッジには、ゲームの成績や途中経過をセーブ(記録)しておくバッテリーバックアップ機能がついています(リチウム電池内蔵)。

●むやみに電源スイッチをON/OFFする、電源スイッチをONにしたままカートリッジを抜き差しする、操作の誤り、端子部の汚れ、電池切れ、電池交換などの原因によってデータが消えてしまった場合、復元はできません。ご了承ください。

imagineer イマジニア株式会社
〒163-0715 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル15階
ユーザーサポート係●TEL:03-3343-8900
祝祭日を除く月曜～金曜10:00～11:45、12:45～17:00
※ゲームの攻略に関するお問い合わせにはお答えすることができません。
キャラクターデザイン:ほるま りん　制作協力:(株)講談社コミックボンボン編集部